

## 令和 6 年度 厚生環境常任委員会 行政視察報告書

### 1 調査期間

令和 6 年 10 月 23 日（水）～10 月 25 日（金）

### 2 視察都市及び視察事項

| 期 日              | 視察企業・視察都市   | 視察事項                 |
|------------------|-------------|----------------------|
| 10 月 23 日<br>（水） | 日本ファイバー株式会社 | 古着リサイクルの取組について       |
| 10 月 24 日<br>（木） | 久留米市        | 久留米らしい重なり方デザイン事業について |
| 10 月 24 日<br>（木） | 福岡市         | 「福岡 100」の取り組みについて    |
| 10 月 25 日<br>（金） | 北九州市        | 北九州市のエコタウン事業について     |

### 3 視察者

|              |               |
|--------------|---------------|
| 東 木 久 代（委員長） | 井 上 裕 介（副委員長） |
| 土 屋 俊 則      | 小 池 恵 子       |
| 吉 松 巳 希      | 神 尾 江 里       |
| 大 矢 徹        | 塚 本 昌 紀       |

### 4 視察事項の概要

#### 4-1 日本ファイバー株式会社

事業内容

「リユース事業」

回収した衣料の中古販売および海外輸出・古着屋 西海岸の運営

「リサイクル事業」

回収した衣料をウエスとして再生・販売

「マテリアル事業」

同じく回収した衣料を選別し反毛原料として再利用

「サーマル事業」

いずれの用途にも適さない古布や加工で生じた繊維などもすべて熱源として再利用

上記の他、一般貨物自動車運送事業

一般および産業廃棄物処理事業

製紙原料事業（古紙リサイクル）

## 視察事項 古着のリサイクルについて

藤沢市で回収された衣類が日本ファイバーへ流通されており現状と今後について代表取締役川野達朗様よりご説明いただきました。

世界情勢に左右される産業であるが藤沢市からの安定した取引と今後の展望についても貴重な意見交換がされました。

その後資源の分別のサイクルの現場もご案内いただき商品化されて陳列されるまでの現場を視察いたしました。

藤沢市の資源ごみがどのようにリサイクルされているかを現場で見ることができ今後の環境政策につなげて参りたいと思います。



## 4-2 福岡県久留米市 人口 300,338人

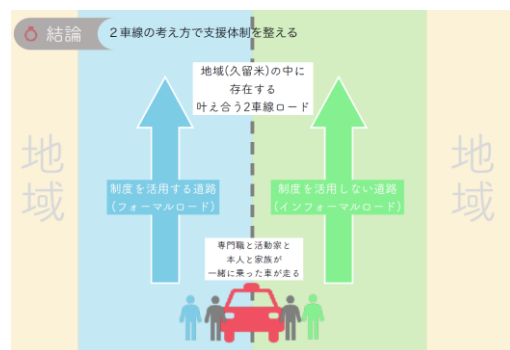
### 視察事項 久留米らしい重なり方デザイン事業について

藤沢市において共生社会や地域のつながり方への議論が進んでいます。そこで願いを叶え合う支援を掲げている久留米市 健康福祉部 地域福祉課 職員の方よりご説明いただきました。令和4年度に委託事業として実施。プロポーザルで受託者を決定後10人のプレーヤーを中心に実行委員会が誕生から提案されたのは「願いを叶え合う支援」という手法で、フォーマルとインフォーマルの重なり合った部分をAU-formalと定義し、「解決する支援」だけでなく「叶え合う支援」によって両者が融合されていく「AU-case project」という取り組みを展開。検証を進めるために「実践」「検証」「編集」の三つの事業を進め重層的支援体制が進められたとの事です。

### 所感

藤沢市で福祉における重層的な支援体制が進められているが、狭間や可視化が課題と捉えていた中で久留米市の制度を活用する道路(フォーマルロード)制度を活用しない道路(インフォーマルロード)道路2車線に見立てた支援体制が非

常にわかりやすかったです。行政が作成する資料は専門用語が多くわかりづらいことが多いが本事業の資料は伝わりやすさ見やすさが非常に参考になりました。



※久留米市資料

**福岡県福岡市** 人口 1,659,098人  
視察事項 「福岡100」の取り組みについて

福岡市では、人生100年時代の到来を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる持続可能なまちを目指すプロジェクト「福岡100」に取り組んでいます。市民のみなさんはもちろんのこと、企業や大学などの知恵や工夫を取り入れ、「オール福岡」で推進しています。藤沢市でも人生100年時代のまちづくりが進められている中での先進事例として視察いたしました。

#### ・認知症フレンドリーシティサポートプロジェクト

認知症の人やその家族がいきいきと暮らせる認知症にやさしいまち、「認知症フレンドリーシティ」を目指している。認知症にやさしいまちは、市民のみなさんが安心して暮らせるまちとの考えの元で認知症フレンドリーセンターの開設や認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード(R)」の普及啓発が進められ講習会が開催されている。

#### ・シニア活躍応援プロジェクト

超高齢社会を迎える中、福岡市においても、高齢者が意欲や能力に応じて社会の中で活躍できる仕組みや環境をつくっていくことが必要となっていると分析。特に就業については、国の調査によると、65歳を過ぎても働きたいと考えている人が7割近くにのぼる等、高齢者の意欲が非常に高い一方で、実際の有業者は3割未満にとどまっており、高齢者のニーズと企業の求人の間でミスマッチ（職種、勤務内容・時間等の不一致）が生じている。また、就業を通じて、

知識や経験、スキルを社会で生かすことは、生きがいや健康づくり、ひいては健康寿命の延伸にも効果があるものと考えている。

シニア活躍応援プロジェクトは、こうした状況を踏まえ、働きたい高齢者と企業の雇用をマッチングする仕組みや環境をつくり、高齢者の就業を応援していくもとのことでした。

#### ・オーラルケア28（にいはち）プロジェクト

歯と口腔の健康は、全身の健康や、食事・コミュニケーションなどの日々の生活の充実に密接に関わる重要課題と位置付け。28本（親知らずを除く）ある永久歯を生涯健康に保ち、健康寿命の延伸とWell-beingの向上につなげるため、福岡市では、人生100年時代を見据えた持続可能な社会をつくるプロジェクト『福岡100』の取組みの一つとして、治療よりも予防に重点をおき、世代ごとの特性に応じた歯科口腔保健の取組み「オーラルケア28プロジェクト」を産学官オール福岡で実施している。

#### 所感

藤沢市未来共創セッションでは、人生100年時代を迎え、概ね20年後を見据えた将来の「まち」について、世代や職業などが異なる多様な参加者の元でワークショップ開催されてきました。福岡市の認知症フレンドリーではユマニチュードの普及啓発が徹底されている印象でした。

シニア活躍応援では官民での情報ネットワークが強く需要と供給でマッチングがしっかりしておりました。藤沢市におけるシニア応援や高齢者活躍の場の分析を強化していくべきと思いました。

オーラルプロジェクトではポケモンスマイルではみがき大作戦が非常にユニークでした。福岡市・一般社団法人福岡市歯科医師会・株式会社ポケモンによる連携協定に基づき、永久歯への生え変わりが始まる小学1年生に対し、歯みがきと歯科医院での健診受診を楽しみながら習慣化するきっかけづくりになっているとの事でした。



4－3福岡県北九州市 人口 908,109人

視察事項 北九州市エコタウン事業

北九州市エコタウンセンターは、全国のエコタウンの中で最も早くスタートして、最も充実している「北九州エコタウン」の中核施設で『リサイクル』や『循環型社会』などが学べる『北九州エコタウン』と様々な『エネルギー』について学べる『次世代エネルギーパーク』の施設見学も行われておりました。まず概略を北九州市 環境局 サーキュラーエコノミー推進課 職員の方より「あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすること（ゼロ・エミッション）」を目指し、資源循環型社会の構築を図る事業についてご説明いただきました。その後施設内の展示スペースのご案内を頂き質疑応答も行われました。

所感

藤沢市でもリサイクルプラザが環境啓発施設としてありますが、北九州市のように産学官での取り組みにはなっておらず課題であると感じました。また環境の国際協力との戦略の下でアジア諸都市を中心に 20 年以上の実績がありリサイクルビジネス事業化へのつながりも感じました。藤沢市も環境行動都市としての戦略的な施策の必要性を感じました。



以 上